

ステップ1 坂巻デザインを再現する



※素材(髪)の特性で、湿り自髪が凝り固まっていることがあります。気になる場合は抜いてください。



1 箱からネットに包まれたウィッグを出します。



2 付属の専用ブラシで、ウィッグを毛先からほぐしてときます。



3 ウィッグスタンド*に立て、霧吹きなどで内側のネットが濡れない程度にウィッグ全体を湿らせます。



4 ウィッグスタンドに立てた状態で自然乾燥させます。

*ウィッグスタンドの組み立て方は裏面をご覧ください。

ステップ2 ヘアネットで自毛をまとめる



1 筒状のネットの太い部分を下にします。



2 ネットを首元までかぶり、自毛を全て出します。



3 ヘアバンドをつける要領で、ネットを持ち上げ、太い部分を生え際にのせます。



4 ネットを筒状に伸ばしながら持ち上げます。



5 ネットの中に自毛を入れ込み、ネットの先を折り畳みます。



6 髪をくるむように頭頂部でまとめ、お手持ちのピンで留めます。



7 ネットから耳を出し、前髪部分の生え際を1cmほど出します。



8 後頭部に凹凸があるときは、手のひらで円を描くように手で丸くならしめます。

ステップ3 ウィッグをつける

フルウィッグの裏側の構造

フルウィッグの裏側には2種類の装着ピンとアジャスターがついています。



1 ウィッグを上下に振り、ふんわりと自然な形にします。



2 ウィッグのフロントピンを開き、フロントピンを生え際に差し込んで留めます。



3 頭頂部を押しさえ、ウィッグを後ろへ引いて頭全体を入れ込み、バックピンを留めます。



4 こめかみ部分をフェイスラインに沿わせします。



5 2ヶ所のサイドアジャスターでサイズを調整します。



6 後ろから手を内側に入れてウィッグをぐっと引っ張り、全体にフィットさせます。



ウィッグスタンド組み立て方法



1 凹のスタンドに凸のスタンドを、輪の中を通すように差し込んでください。



2 上部分の凹凸にあわせて差し込んでください。



3 スタンドの上部分に固定パーツの凹凸を合わせて完成!

ウィッグをスタンドにかぶせて保管してください。

Point!

ウィッグの形がくずれないように、スタンドの脚部分を正面中央に合わせてかぶせます。



お手入れ方法

〈通常のお手入れ〉



1 ウィッグに霧吹きを数回かけて全体を湿らせてから、目の粗いコームで整えます。

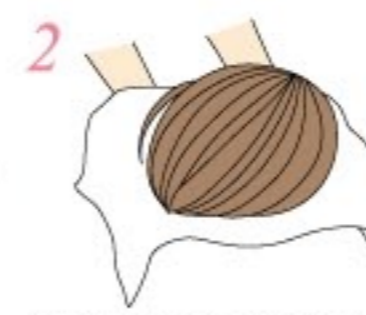


2 室内で寝かせた状態で自然乾燥させます。

〈汚れが気になるときのお手入れ〉ヘアコーサージュ専用のシャンプー&リンス(別売り)をお使いください。毎日ウィッグを着用した場合は、2週間に1回程度のシャンプー&リンスでのお手入れが目安です。



1 水にシャンプー&リンスを適量入れて泡立て、2~3分つけ置き、指先で軽く押し洗いをします。汚れがひどい時は二度洗いしてください。



2 流水ですすぎ、タオルで軽く押さえながら水気を取り、室内に寝かせた状態で自然乾燥させます。



3 完全に乾燥したら、毛先から軽くブラッシングし、毛の流れを整えてください。

【お手入れ上の注意点】

●過度の押し洗いはスタイルがくずれの原因となります。●濡れた状態でブラッシングすると、毛切れやスタイルがくずれの原因となります。●ドライヤー・暖房器具などでの熱風乾燥は、縮みや傷みの原因となります。

【お取り扱い上の注意点】

●強いブラッシングはウィッグが傷む原因となります。●市販のシャンプーはウィッグが傷むことがありますので使用しないでください。●洗濯機でウィッグを洗わないでください。●毛染め・脱色・パーマはおやめください。●就寝時は外してください。●体質によりかぶれが生じた場合は、使用を中止し、皮膚科専門医等にご相談ください。●150℃以上のドライヤー、ホットカーラー、ヘアアイロン等は使用しないでください。●また、150℃以下のドライヤー、ホットカーラー、ヘアアイロンの使用時に、一ヶ所に10分以上の使用をしないでください。●ストーブやエアコンの近く、サウナ・浴室等、火気のある場所や高温多湿の場所での使用は避けてください。